

談話会のお知らせ

講 師

島根大学総合理工学部物理工学科
准教授 西垣 真祐 先生

タイトル

「Riemann零点の分布とランダム行列について」

概要: L関数を自己隨伴作用素の特性多項式と同定してRiemann仮説を解決しようとするPolyaのスペクトル解釈は、「非自明零点の相関関数は、ランダムユニタリ行列の固有値の行列式点過程に漸近する」という観察(Montgomery予想)に結実した。本講演ではこのランダム行列とL関数の並行性について, Sarnak, Rudnick, Katz, Keatingらによる発展や量子カオス系との関わりを含めて述べる。さらに, Montgomery予想の有限サイズ補正に関して、ギャップ比分布に基づく最新の結果を紹介する。

日時

令和8年1月22日(木)
16:30 ~ 17:30

場所

理A408室